様式4

令和 8年 10月 29日

令和 8年度　学校関係者評価及び改善策

（中間・最終 ）　広南中学校区 校番2　学校名 広南中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	A	9年間を通して確かな学力を育成する。全国学力・学習状況調査の結果として、高いレベルにあると思います。 地域に感謝・貢献し、地域の人材を活用しながら地域と協働できる場が充実しており、（地域住民として）ありがたいです。 昨年度の結果から見て、「確かな学力の育成」については、もっと目標値を高く設定しても良いと思いました。
目標達成のための方策の適切さ	A	「三角ロジック」「ICT」の活用を生徒に考えさせることにより、自らの学習を振り返り、学習活動を充実させています。 昨年度とほぼ同じ方策であるのは、良い結果が出ているからだと納得できる。 「広まちづくりプロジェクト」を学校が地域で挑戦すること、私たち地域にとっても、うれしいです。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	学年ごとに数値を比較し、しっかり分析ができていると思う。 学年を追うにしたがって生徒の成長している姿が、よく見える。 生徒アンケートの肯定的評価から、生徒が目指すべき目標を見定め、学習活動をすることは、広南地域にとっても、すごく素晴らしい事と思います。
今後の改善策（案）の適切さ	A	結果の分析を受けて、具体的な改善策が提示されている。 もくりん防災リーダーを中心に防災活動を推進する意識は、地域にとってもまちづくりに貢献されています。 1年「落語」、2年「起業企画」、3年「創作劇」の総合的な学習の時間で志をもたせることは良い事と思います。 「いじめは絶対に許さない」の肯定的評価(94%)について、なぜ100%ではないのかを検証していただきたい。
その他	先生方がしっかりやってくださっているので、生徒にとってはその成果が充分に出ているように思います。ただ業務改善には課題があり、何らかの手立てが必要だと思います。 文化活動発表会は年々レベルアップし、感心します。防災教育も他校に比べて進んでいるのではないでしょうか。呉工業高等専門学校の先生・生徒と、本校・地域とが防災教育を進めれば、もっと良くなると思います。	

※ 評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	体力の向上については、小学校と連携して取り組む必要があることを指摘された。昨年度に示された「縄跳び運動」を9年間通して取り組むのも有効ではないかとの提案を受けたので、検討していく。 今後は、委員の皆様との協議の時間をより長めに設けることで、多様な視点からの意見をいただく場を設定する。